

【株式会社サンノハシ】

ボルト軸力計測システム(Guardian's EYE)の信頼性向上とコスト低減

開発のねらい

建築構造物等においてボルトの「緩み検知」は、崩落事故事例から近年注目が高まっている。緩み検知には「軸力」検知が有効であるため、ボルト頭部小型センサーと検知装置を開発した。本事業では計測での信頼性向上と更なる小型化でのコスト低減を実施した。

開発の概要

- ・ M10ボルトの頭部に搭載可能なよう電子部品（センサー部）を新規に開発した。
- ・ 頭部電子部のケースを新設計し、防水性能と耐久強度をUPした。
- ・ タブレットに情報が無線で飛ぶよう、Bluetooth対応とした。

特長

M10サイズ以上のボルトに対応するコンパクトなセンサー部
ワンタッチで軸力を読み取る利便性そのままに情報を無線化
誰でも短時間の教育でボルトの緩みを確認可能
高温、車両振動耐久試験クリアー

用途

建築構造体、橋梁、トンネル、風力発電
など、自動車、鉄道の劣化確認。
開発試験における軸力計測。



センサー付き
ボルト



開発製品全体



お問い合わせ先

【所在地】 〒340-0834 埼玉県八潮市大曾根1218

【連絡先】 TEL 048-996-0383 FAX 048-998-0248 技術本部 西郷史隆
<http://www.sannohashi.co.jp>

